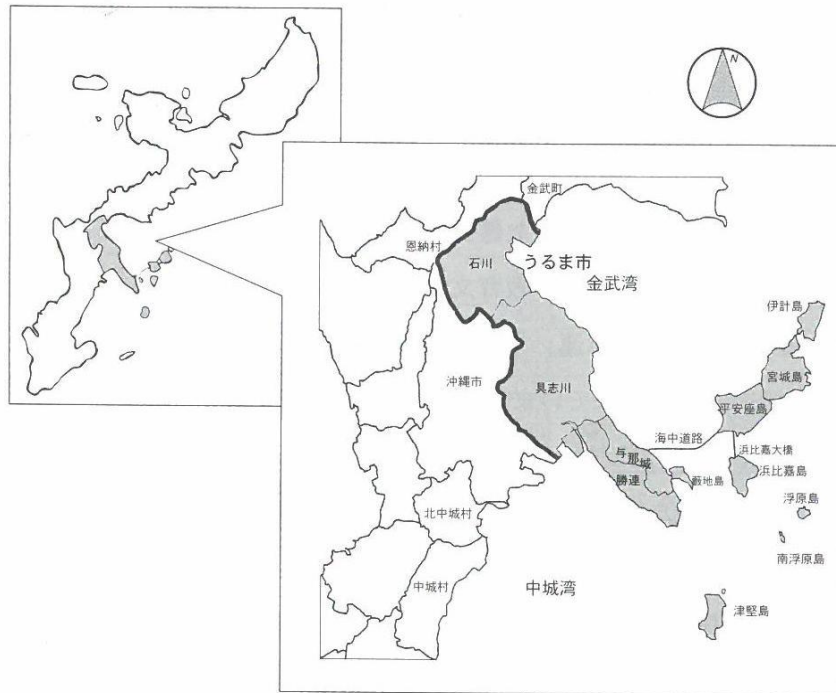


うるま市の概要

(1) 位置

うるま市は、沖縄本島中部の東海岸に位置し、県都那覇市から北東へ約 25km の距離にあります。重要港湾である金武湾と中城湾に面し、東南部に広がる勝連半島の北方海上および東方海上には、有人、無人の 8 つの島々があり、美しい風景と豊かな自然環境に恵まれています。又、県内では人口で 3 番目、面積で 6 番目の規模となっています。

◎ 図：うるま市の位置



うるま市の位置			市庁舎の位置	
方位	地名	経緯度	地名	経緯度
極東	伊計	東経 128° 00' 15"	うるま市みどり町 一丁目1番1号 (本庁舎)	東経 127° 51' 27" 北緯 26° 22' 45"
極西	嘉手苧	東経 127° 47' 17"		
極南	津堅	北緯 26° 14' 29"		
極北	石川	北緯 26° 27' 01"		

◎うるま市のデータ

人口：126,023 人（令和 5 年 3 月末日現在）

世帯数：56,363 世帯（ // ）

面積：87.02 km²

市長名：中村 正人

所在地：うるま市みどり町一丁目1番1号

電話：098-974-31111(代表番号)

ホームページ：<http://www.city.uruma.lg.jp>

(2) 浴 革

うるま市は、具志川市、石川市、勝連町、与那城町の個性豊かな4市町が合併して生まれたまちです。

具志川市は、約4,000年前に生活が営まれた痕跡を残す古い歴史があり、琉球最古の歌謡集「おもろさうし」に“くしかわ”とあります。豊富な水資源と肥沃で広い土地に恵まれ、かつてサトウキビの生産が沖縄一を誇っていました。戦後、琉球大学の前身である沖縄文教学校、沖縄外国語学校や農林学校などが続々創設され、沖縄の文教の中心地として発展してきました。

石川市は、琉球王朝時代の寛文6年（1666年）以前は、現在の沖縄市を中心とする越来間切に含まれる農村集落でした。その後、越来間切から分割された美里間切に含まれ、明治41年の沖縄県島嶼町村制の施行に伴い誕生した美里村の一行政区として、昭和初期までその状態が続きました。そして、終戦直後、地方行政措置要綱に基づき美里村から分離し、石川市が誕生しました。戦中戦後には、米国により設置された難民収容所や琉球政府の前身である沖縄諮詢委員会や民政府が設置され、沖縄の政治・経済・教育文化の中心地として発展してきました。

勝連町は、古い文献に「賀津連」「賈慈連」という字で表現されており、1609年の喜安日記に初めて「勝連」の二字が記されています。12～13世紀の築城とされる勝連城は、阿麻和利の乱で落城する1458年まで栄えました。「おもろさうし」には、大和の京や鎌倉に例えられるほどの繁栄が謡われており、活発な海外との交易により発展してきました。また、勝連城跡は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、平成12年に世界遺産に登録されました。

与那城町は、約2,500年前の沖縄貝塚時代中期の沖縄最大の段丘集落跡といわれる「シヌグ堂遺跡」があり、尚真王の甥にあたる与那城王子朝原が授かった西原間切の集落でした。その後、平田間切、与那城間切と改名を重ね、沖縄県島嶼町村制の施行など歴史的な変動を経験しながら、発展してきました。また、海中道路（1972年）や伊計大橋（1982年）、藪地大橋（1985年）の完成により、島々の交通の便が飛躍的に向上し、離島苦の解消が図られました。

4市町は歴史的なつながりが強く、地縁、血縁など住民同士の交流は古くから続いていました。また、海に面し恵まれた地理的条件も含め、生活・経済・文化面において一体的な日常生活圏を構築していました。そして、平成16年9月の4市町の議会において、廃置分合をはじめとする合併関連議案が可決され、同年10月、沖縄県知事への合併申請後、平成17年4月1日に「うるま市」が誕生しました。

(3) うるま市の人口

(イ) 行政区別住民登録人口

令和5年3月末現在

行政区名	行政区コード	世帯数	男	女	計
具志川	1	1,985	2,277	2,381	4,658
田場	2	2,270	2,715	2,856	5,571
赤野	3	899	1,092	1,056	2,148
宇堅	4	527	675	633	1,308
天願	5	624	668	676	1,344
昆布	6	879	928	920	1,848
栄野比	7	963	1,056	989	2,045
川崎	8	965	1,116	1,143	2,259
西原	9	1,257	1,613	1,570	3,183
安慶名	10	1,473	1,505	1,590	3,095
平良川	11	1,050	1,209	1,214	2,423
上平良川	12	1,207	1,394	1,409	2,803
兼箇段	13	710	846	839	1,685
米原	14	1,136	1,346	1,395	2,741
赤道	15	2,518	2,592	2,639	5,231
江洲	16	1,839	2,157	2,197	4,354
宮里	17	1,746	1,800	1,851	3,651
喜仲	18	1,343	1,556	1,621	3,177
上江洲	19	1,270	1,422	1,389	2,811
大田	20	811	924	921	1,845
川田	21	495	580	554	1,134
塩屋	22	947	1,147	1,080	2,227
豊原	23	657	808	807	1,615
高江洲	24	564	671	754	1,425
前原	25	827	913	933	1,846
志林川	26	1,055	1,172	1,271	2,443
新赤道	27	808	880	967	1,847
みどり町1・2	28	961	1,155	1,219	2,374
みどり町3・4	29	1,030	1,144	1,215	2,359
みどり町5・6	30	969	1,048	1,056	2,104
具志川地域 計		33,785	38,409	39,145	77,554
曙	31	1,474	1,566	1,600	3,166
南栄	32	480	488	447	935
城北	33	912	1,015	955	1,970
中央	34	472	511	515	1,026
松島	35	542	519	498	1,017
宮前	36	558	487	512	999
東山	37	925	807	789	1,596
旭	38	1,072	1,136	1,298	2,434
港	39	615	576	557	1,133
伊波	40	972	1,090	1,113	2,203
嘉手苅	41	386	381	402	783
山城	42	462	552	490	1,042
石川前原	43	1,431	1,652	1,765	3,417
東恩納	44	782	860	816	1,676
美原	45	399	431	427	858
石川地域 計		11,482	12,071	12,184	24,255
南風原	46	1,639	1,835	1,811	3,646
平安名	47	1,743	2,139	1,973	4,112
内間	48	483	543	515	1,058
平敷屋	49	1,466	1,745	1,434	3,179
津堅	50	239	228	137	365
浜	51	127	130	97	227
比嘉	52	108	98	65	163
勝連地域 計		5,805	6,718	6,032	12,750
照間	53	554	642	614	1,256
与那城西原	54	655	728	830	1,558
与那城	55	603	745	709	1,454
饒辺	56	655	764	735	1,499
屋慶名	57	1,716	1,919	1,770	3,689
平安座	58	602	634	547	1,181
桃原	59	116	115	84	199
上原	60	110	107	66	173
宮城	61	93	82	65	147
池味	62	43	48	30	78
伊計	63	144	138	92	230
与那城地域 計		5,291	5,922	5,542	11,464
合計		56,363	63,120	62,903	126,023

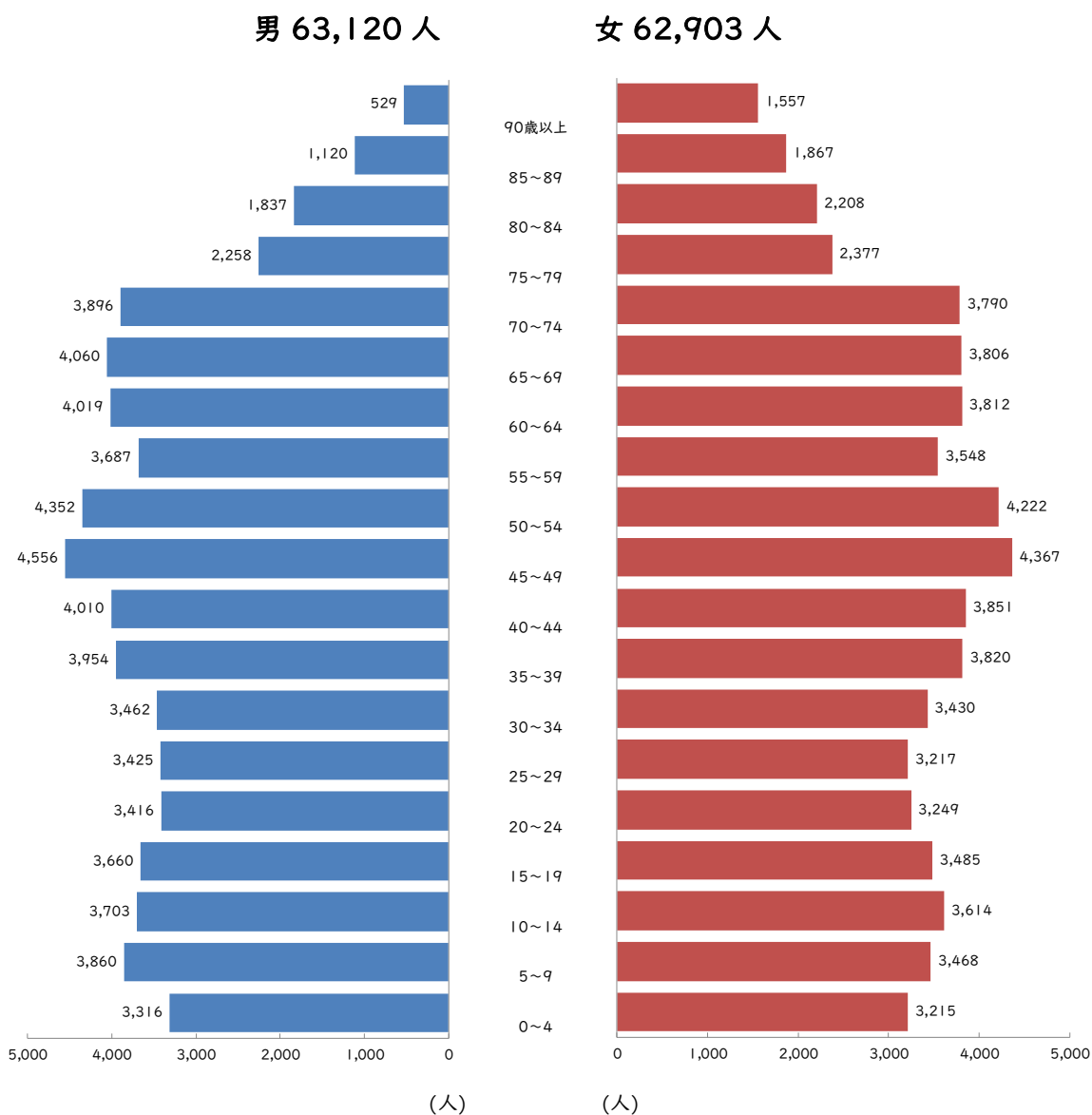
資料：住民基本台帳行政区別人口及び世帯数

(ロ) 年度別人口動態 (4月1日～3月31日)

(単位：人)

年次	人口増加数			自然動態		社会動態		婚姻	離婚
	総数	自然	社会	出生	死亡	転入	転出		
平成30年度	706	270	436	1,337	1,067	5,638	5,202	653	341
令和元年度	589	217	372	1,299	1,082	5,749	5,377	741	368
令和2年度	791	134	657	1,302	1,168	5,517	4,860	661	320
令和3年度	177	47	130	1,277	1,230	4,906	4,776	620	289
令和4年度	453	△114	567	1,162	1,276	5,494	4,927	536	293

(ハ) 人口構成 人口ピラミッド (令和5年3月末時点)



(二) 年度別人口の推移

区分	うるま市									
	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
男	60,367	60,888	61,148	61,511	61,824	62,322	62,707	63,021	62,929	63,120
女	60,319	60,697	60,939	61,191	61,484	61,692	61,896	62,373	62,641	62,903
計	120,686	121,585	122,087	122,702	123,308	124,014	124,603	125,394	125,570	126,023

(4) 令和5年度うるま市一般会計歳入歳出予算(当初)

歳入	(単位:千円)	
款	金額	割合
市税	12,665,366	18.4%
地方譲与税	257,318	0.4%
利子割交付金	2,139	0.00%
配当割交付金	22,356	0.03%
株式等譲渡所得割交付金	23,995	0.03%
法人事業税交付金	141,039	0.2%
地方消費税交付金	2,713,309	3.9%
ゴルフ場利用税交付金	25,535	0.04%
環境性能割交付金	23,812	0.03%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	590,395	0.9%
地方特例交付金	97,171	0.10%
地方交付税	14,900,803	21.6%
交通安全対策特別交付金	10,614	0.02%
分担金及び負担金	245,285	0.4%
使用料及び手数料	789,937	1.1%
国庫支出金	17,417,962	25.3%
県支出金	8,488,921	12.3%
財産収入	492,823	0.7%
寄附金	356,001	0.5%
繰入金	5,505,264	8.0%
繰越金	1	0.00%
諸収入	390,008	0.6%
市債	3,807,273	5.5%
歳入 合計	68,967,327	100%

歳出	(単位:千円)	
款	金額	割合
議会費	364,176	0.5%
総務費	4,873,006	7.1%
民生費	35,170,402	51.0%
衛生費	4,866,911	7.1%
労働費	142,891	0.2%
農林水産業費	1,394,209	2.0%
商工費	1,150,017	1.7%
土木費	5,654,167	8.2%
消防費	1,847,185	2.7%
教育費	8,225,856	11.9%
災害復旧費	4,975	0.00%
公債費	4,873,532	7.1%
予備費	400,000	0.6%
歳出 合計	68,967,327	100%

